

## 2021年度長崎県立大学入学者選抜（2020年度実施）の変更について【予告2】

### 1. 英語の4技能評価における外部の「資格・検定試験」等の活用の手法について

#### （1）一般選抜

大学入試センターが認定した英語の外部「資格・検定試験」を活用します。

なお、具体的な活用方法については、別添のとおりです。

#### （2）学校推薦型選抜

一部の選抜試験について、大学入試センターが認定した英語の外部「資格・検定試験」を活用します。

なお、具体的な活用方法については、別添のとおりです。

#### （3）総合型選抜

大学入試センターが認定した英語の外部「資格・検定試験」を活用します。

なお、具体的な活用方法については、別添のとおりです。

### 2. 調査書等（調査書や志願者本人が記載する資料等）の活用について

一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜において、調査書等は活用します。

なお、活用の手法については、決まり次第公表します。

【別添】

1. 英語の4技能評価における外部の「資格・検定試験」等の活用の手法について

※英語及び中国語の「資格・検定試験」の活用に関連する事項について、下記のとおりお知らせします。

学部名	学科名	一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜
		出願資格	加点等	区分	活用の手法	
経営学部	経営学科	「A1」以上	CEFR対照表を段階的に評価し、点数化して、大学入学共通テストの外国語試験の得点に加点します。 ※加点の手法については、引き続き検討を行います。 大学入試センターが認定した全ての「資格・検定試験」を対象とします。	全ての区分	「資格・検定試験」を利用しません	同学科の一般選抜と同様
	国際経営学科	「A2」以上		英語の「資格・検定試験」の一定レベルを出願要件とする区分	別紙1のとおり	
				同学科の上記以外の区分	「資格・検定試験」を利用しません	
地域創造学部	公共政策学科	「A1」以上	【注】 英語成績提供システムを利用します。 また、システムが提供する2回の成績のうち、CEFRの段階やスコアの良い方の成績を利用します。	県内離島高校区分を除く全ての区分	同学科の一般選抜と同様	
				県内離島高校区分	「資格・検定試験」を利用しません	
	実践経済学科	「A1」以上		県内普通科等及び県外高校の区分	「資格・検定試験」を利用しません	
				県内商業科等区分	別紙1のとおり	
国際社会学部	国際社会学科	「A2」以上		英語又は中国語の「資格・検定試験」の一定レベルを出願要件とする区分	別紙1のとおり	別紙2のとおり
				同学科の上記以外の区分	「資格・検定試験」を利用しません	
情報システム学部	情報システム学科	「A1」以上		全ての区分	「資格・検定試験」を利用しません	
	情報セキュリティ学科	「A1」以上		全ての区分	「資格・検定試験」を利用しません	
看護栄養学部	看護学科	「A1」以上		離島看護師特別枠を除く全ての区分	「資格・検定試験」を利用しません	
				離島看護師特別枠区分	同学科の一般選抜と同様	
	栄養健康学科	「A1」以上		全ての区分	「資格・検定試験」を利用しません	

【別紙 1】

学校推薦型選抜

○国際経営学科(英語の「資格・検定試験」の一定レベルを出願要件とする区分)

○実践経済学科(県内商業科等:英語の「資格・検定試験」の一定レベルを出願要件とする基準)

※現行の実践経済学科(県内商業科等)の出願要件である「実用英語技能検定(英検)2級以上」が下記に置き換わります。

次の資格・検定試験のいずれかのスコアを有する者

【CEFR B1 以上】

- ・ケンブリッジ英語検定 140 以上 (※1)
- ・実用英語技能検定 1950 以上 (※2)
- ・GTEC (Basic, Advanced, CBT) 960 以上 (※3)
- ・IELTS 4.0 以上 (※4) ・TEAP 225 以上
- ・TEAP CBT 420 以上 ・TOEFL iBT 42 以上

(※1) 対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。  
指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※2) 準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。  
指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※3) GTEC(Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。

(※4) IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。

スコアは文部科学省(令和元年8月)「各資格・検定試験と CEFR との対照表」に基づき記載。

○国際社会学科(英語又は中国語の「資格・検定試験」の一定レベルを出願要件とする区分)

次の i. 又は ii. のいずれかに該当する者

i. 次の資格・検定試験のいずれかのスコアを有する者

【CEFR A2 以上】

- ・ケンブリッジ英語検定 120 以上 (※1)
- ・実用英語技能検定 1700 以上 (※2)
- ・GTEC (Core, Basic, Advanced, CBT) 690 以上 (※3)
- ・IELTS 4.0 以上 (※4) ・TEAP 135 以上
- ・TEAP CBT 235 以上 ・TOEFL iBT 42 以上 (※5)

(※1) 対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。  
指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※2) 2級 1728 以上、準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。  
指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※3) GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。

(※4) IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。

CEFR A2 の測定ができないため、CEFR B1 の下限スコアを記載している。

(※5) CEFR A2 の測定ができないため、CEFR B1 の下限スコアを記載している。

スコアは文部科学省(令和元年8月)「各資格・検定試験と CEFR との対照表」に基づき記載。

CEFR 対照表で B1 以上のスコアを有する者には、大学が実施する小論文(英語)の点数に加点します。加点の手法については、引き続き検討を行います。

ii. 次の資格・検定試験のいずれかのスコアを有する者

- ・中国語検定(中検)4級以上
- ・HSK(2010年度以降受験)3級以上 (※6)
- ・TECC 公開試験スコア 380 点以上

(※6) HSK 5級・6級については、300点満点の6割(180点)以上

中検3級以上、HSK4級以上、TECC450点以上の資格又はスコアを有する者には、大学が実施する小論文(中国語)の点数に加点します。加点の手法については、引き続き検討を行います。

【別紙 2】

総合型選抜

○国際社会学科(英語又は中国語の「資格・検定試験」の一定レベルを出願要件とする区分)

次の i. 又は ii. のいずれかに該当する者

i. 次の資格・検定試験のいずれかのスコアを有する者

【CEFR B1 以上】

- ・ケンブリッジ英語検定 140 以上 (※1)
- ・実用英語技能検定 1950 以上 (※2)
- ・GTEC (Basic, Advanced, CBT) 960 以上 (※3)
- ・IELTS 4.0 以上 (※4) ・TEAP 225 以上
- ・TEAP CBT 420 以上 ・TOEFL iBT 42 以上

(※1) 対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。  
指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※2) 準 1 級 1980 以上、1 級 2304 以上でも可。  
指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※3) GTEC(Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。

(※4) IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。

スコアは文部科学省(令和元年 8 月)「各資格・検定試験と CEFR との対照表」に基づき記載。

CEFR 対照表で B2 以上のスコアを有する者には、大学が実施する小論文の点数に加点します。加点の手法については、引き続き検討を行います。

ii. 次の資格・検定試験のいずれかのスコアを有する者

- ・中国語検定(中検) 4 級以上
- ・HSK(2010 年度以降受験) 4 級以上 (※5)
- ・TECC 公開試験スコア 450 点以上

(※5) HSK 5 級・6 級については、300 点満点の 6 割(180 点)以上

中検 3 級以上、HSK5 級以上、TECC550 点以上の資格又はスコアを有する者には、大学が実施する小論文の点数に加点します。加点の手法については、引き続き検討を行います。